



4K液晶テレビ

取扱説明書・保証書(裏表紙)

ヘルプガイドについて

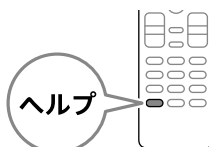
本機の詳しい使いかたは、ヘルプガイド(電子取扱説明書)をご覧ください。

スマートフォンで下のQRコードを
スキャンして閲覧できます。



<https://rd1.sony.net/help/tv/mjp1/ja/>

リモコンのヘルプボタンを押すと
テレビで閲覧できます。



BRAVIA

警告 安全のために

→ 14 ~ 19 ページもあわせてお読みください。

電気製品は安全のための注意事項を守らないと火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

テレビは正しく使用すれば、事故が起きないように、安全には充分配慮して設計されています。しかし、内部には電圧の高い部分があるので、間違った使いかたをすると、火災などにより死亡など人身事故になることがあり、危険です。事故を防ぐために次の事を必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

「安全のために」(14 ~ 19 ページ)のご注意をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

定期的に点検する

お買い上げ時とそのあと1年に1度は「長年ご使用のテレビの点検を！」(13 ページ)の症状がないかを点検してください。

内部にほこりがたまったら長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。湿気の多くなる梅雨期の前に掃除を行うと、より効果的です。

また、本機の通風孔付近にほこりが付着する場合がありますが、付着がひどい場合、故障の原因となることがあります。掃除機などで1か月に1度、ほこりを吸い取ることをおすすめします。1年に1度は内部の掃除を、5年に1度は点検をお買い上げ店またはソニーご相談窓口にご依頼ください(有料)。

故障したら使わない

すぐにお買い上げ店、またはソニーご相談窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

- 煙が出たり、こげくさいにおいがしたら
- テレビ内部から異常な音がしたら
- 内部に水などが入ったら
- 内部に異物が入ったら
- テレビを落としたり、キャビネットを破損したりしたときは



- ① 電源を切る
- ② 電源プラグをコンセントから抜く
- ③ お買い上げ店またはソニーご相談窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながる可能性があります。

注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電



注意

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



ぬれ手禁止



風呂・シャワー室での使用禁止




接触禁止

行為を指示する記号



プラグをコンセントから抜く

重要 -本製品の使用を開始される前に必ず、ソフトウェア使用許諾契約書をお読みください。

お客様による本製品の使用開始をもって、お客様がソフトウェア使用許諾契約書の内容にご同意いただけたものとさせていただきます。お客様と弊社との間のソフトウェア使用許諾契約書は、弊社ウェブサイト (<https://www.sony.net/tv-software-licenses/>) または本製品画面(クイック設定ボタンを押して、 (設定) - [システム] - [デバイス情報] - [法的情報] - [ソフトウェアに関する重要なお知らせ]) でご覧いただけます。

ご同意いただけない場合には、直ちに許諾ソフトウェア・本製品の返品・返金の手続きについて弊社にご連絡ください。

目次

テレビを見るための準備 組み立て／ 設置ガイド..... (別紙)	
マニュアルについて	3

リモコン

各部のなまえ	4
--------------	---

接続／準備する

アンテナにつなぐ.....	6
ネットワークにつなぐ.....	6
Google アカウントにログインすると できること.....	7

テレビを見る／録画する

テレビを見る	8
USBハードディスクに録画する	8

困ったときは

故障かな? と思ったら.....	11
保証書とアフターサービス.....	12
ソニーの相談窓口のご案内.....	13

安全のために／その他

安全のために	14
使用上のご注意／お手入れ	20
再設置／テレビを壁に取り付けて使う	23
主な仕様	24

保証書	裏表紙
-----------	-----

マニュアルについて

組み立て／設置ガイド

テレビのカートン(箱)の上部にあります。

取扱説明書(本書)

テレビの基本的な使いかたを説明しています。

ヘルプガイド(電子取扱説明書)

本機の詳しい使いかたは、ヘルプガイド(電子取扱説明書)をご覧ください。

閲覧方法は、この取扱説明書の表紙をご覧ください。

ヒント

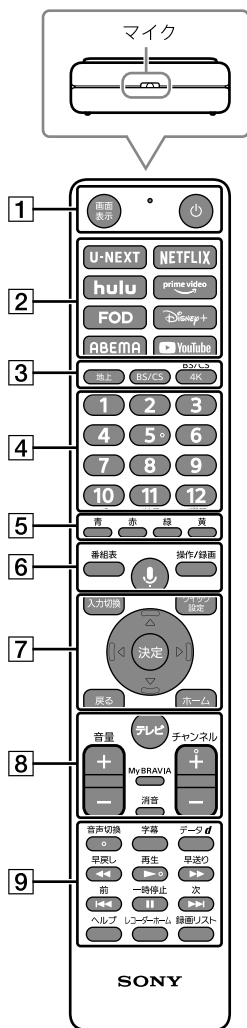
- マニュアル類は、下記のサポートサイトからもご覧いただけます。
<https://www.sony.jp/support/tv/products/xr50/manual.html>



ご注意

- ソフトウェアのアップデートなどにより、画面デザイン、メニュー構成、および仕様は改良のために予告なく変更することがあります。最新情報については、ソニーのサポートサイトをご覧ください。

各部のなまえ



1 画面表示

チャンネルや番組情報、時計などの表示／非表示を切り換えるときに押します。

ご注意

- 常に時計を表示するには、クイック設定ボタンを押して、**設定**－[システム]－[日付と時刻]－[自動時計表示]を[入(常に表示)]に設定してください。

ランプ(LED)

Google アシスタント／マイクボタンを押し、マイクが有効になると点灯します。

電源

2 U-NEXT、Netflix、Hulu、Prime Video、FOD、Disney+、ABEMA、YouTube™

各種サービスに切り換えるときに押します。

3 放送切換ボタン(地上、BS/CS、BS/CS 4K)

放送波を切り換えるときに押します。

4 数字ボタン

チャンネルを切り換えたり、数字を入力するときに押します。

電源スタンバイ時に数字ボタンを押すと、電源が入ると同時に選んだチャンネルを表示できます(チャンネルポン)。

5 カラーボタン(青、赤、緑、黄)

各色のボタンに対応する機能を選ぶときに押します。

6 番組表

放送局が送信する番組情報を表示するときに押します。

ご注意

- 番組表にはBS8K放送の番組が表示されますが、本機では、これらの番組の視聴はできません。

Google アシスタント／マイク

映画の検索、音楽の再生、テレビの操作などを声で行うときに押します。

この機能を使用するには、Google アカウントへのログインが必要です(7 ページ)。

操作／録画

選択している入力に応じた操作メニューを表示するときに押します。

テレビを視聴中は、見ている番組の録画や3桁のチャンネル番号の入力などができます。

7 入力切換

テレビの入力一覧やよく使うアプリを表示するときに押します。

ご注意

- 機器が接続されていないときは、入力切換にHDMI入力が表示されない場合があります。

クイック設定

画質、音質の設定など、その画面ですぐに使用したい機能を切り換えるときに押します。

▲▼◀▶ (上下左右)、決定

▲▼◀▶ (上下左右) ボタンで画面上の項目を選び、決定ボタンで選んだ項目を決定します。

戻る

前の画面に戻ります。

ホーム

ホームメニューを表示するときに押します。

8 テレビ

テレビ放送に切り換えるときに押します。
電源スタンバイ時にテレビボタンを押すと、電源が入ると同時にテレビ放送を表示できます。

音量+ / -

チャンネル+ / -

My BRAVIA

My BRAVIAに切り換えるときに押します。

消音

音を消したいときに押します。もう一度押すと、音声が出ます。

ヒント

- 消音ボタンを長押しすると、読み上げなどのユーザー補助機能のオン/オフを切り換えることができます。

9 音声切換

副音声や第2音声(デジタル放送のみ)に切り換えるときに押します。

字幕

字幕を第一言語→第二言語→切の順に切り換えるときに押します。

ご注意

- 第二言語が運用されていない番組は第一言語と同じ字幕が表示されます。

データ d

番組と連動しているデータ放送を表示するときに押します。

早戻し / 再生 / 早送り / 前 / 一時停止 / 次

ブラビアリンク対応の録画機器やUSBハードディスクを操作するときに押します。

ヘルプ

本機の情報や困ったときの対応方法を確認するとき、電子取説(ヘルプガイド)を表示するときに押します。

レコーダーホーム

HDMIで接続しているBDレコーダーのホームメニューを表示するときに押します。

録画リスト

録画した番組の一覧を表示するときに押します。

ご注意

- 状況や設定により使えるボタンや機能は変わります。
- テレビの機種によりリモコンの形状やボタン配置が異なることがあります。

ヒント

- ▶ (再生) ボタン、音声切換ボタン、数字ボタンの[5]、チャンネル+ボタンには凸点(突起)が付いています。操作の目印としてお使いください。

アンテナにつなぐ

接続方法は、付属の「組み立て／設置ガイド」をご覧ください。

本機はBS4K放送と110度CS4K放送に対応しています。

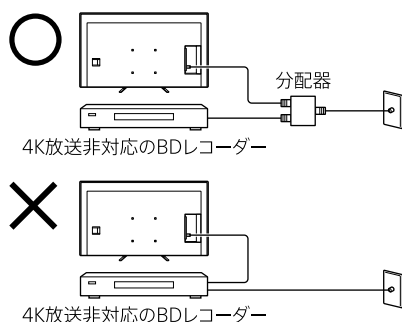
現在BS放送のすべてのチャンネルが受信できている場合、従来の衛星アンテナと受信システム機器のままで、NHKと民放キー局系のBS4K放送(右旋放送)を視聴できます。

(ヒント)

- 左旋放送を受信する方法は、ヘルプガイド(電子取扱説明書)をご確認ください。
閲覧方法は、この取扱説明書の表紙をご覧ください。
- アンテナレベルを確認するには、**⚙️(設定)**－[放送と外部入力]－[放送受信設定]－[アンテナ設定]－[アンテナレベル]を選び、視聴する信号を選択します。信号品質が緑色のレベルに達している場合は良好に受信しています。

ご注意

- お使いのBDレコーダーが4K放送非対応で、かつ、本機で左旋放送を視聴する場合は、「壁面のアンテナ端子」－「BDレコーダー」－「本機のBS/110度CS IF入力端子」の順に接続しないでください。
その場合は、下記のように左旋放送対応の分配器を使い、本機とBDレコーダーを並列に接続してください。



引っ越ししたり、新しく開始された放送を受信したいときは

チャンネル設定をやり直してください。

クイック設定ボタンを押して、**⚙️(設定)**－[放送と外部入力]－[放送受信設定]を選び、お使いの地域を設定します。

次に、[地上：自動チャンネル設定]を選んでチャンネルスキャンしてください。

ネットワークにつなぐ

テレビをインターネットにつなぐと、インターネット動画を楽しんだり、声で見たいコンテンツを検索したりできます。

テレビをインターネットに接続するためには、インターネットを使用できる環境が必要です。詳しくは、ご利用の回線事業者やプロバイダーにお問い合わせください。

有線接続する

1 必要なもの(別売)を準備する。

- ルーター (1台)
- カテゴリ 5 (CAT5) 以上のLANケーブル(1本)

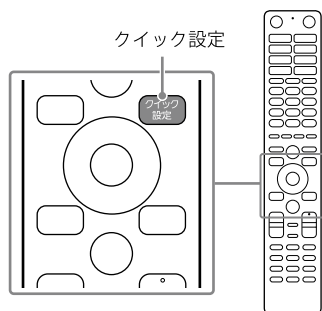
2 LANケーブル(別売)を、テレビのLAN端子とルーターのLAN端子につなぐ。

テレビのLAN端子の位置は、「組み立て／設置ガイド」をご覧ください。

ご注意

- 本機をインターネットに接続してご使用の際は、ルーターを介した接続、またはルーター機能を有したLANポートへの接続をしてください。

無線接続する(Wi-Fi)



1 必要なもの(別売)を準備する。

- 無線LANルーター (1台)

ヒント

- 無線LANルーターのSSIDとセキュリティキーを控えておいてください。
- セキュリティキーの名称はメーカーによって異なります(「暗号化キー」、「暗号キー」、「KEY」、「ネットワークキー」、「パスワード」など)。

2 クイック設定ボタンを押して、 ⚙️(設定)－[ネットワークとインターネット]を選ぶ。

3 接続したいネットワークを選んで セキュリティキーを入力する。

ヒント

- 無線LANルーターの設定を変更できる場合は、802.11n、802.11acまたは802.11axに設定してください。インターネットで動画をスムーズに再生できます。設定のしかたは、無線LANルーターの取扱説明書をご覧ください。ネットワークを設定した人(ネットワーク管理者)にお問い合わせください。

Google アカウントに ログインするとできる こと

テレビをインターネットにつなぎ、Google アカウントでログインすると、テレビにお好みのアプリをインストールしてインターネット動画を楽しんだり、声で見たいコンテンツを検索したりできます。

テレビの初期設定の中で、Google アカウントでログインできます。あとでログインするには、テレビのホーム画面からリモコンの▼(下)ボタンを2回押し、Google TV の設定を行ってください。

Google アカウントでログインせずに セットアップする

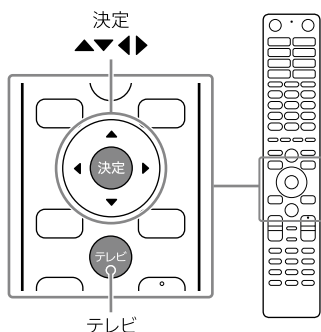
Google アカウントがなくてもテレビ放送を見たり、BDレコーダーなどの機器をつなぐことができます。

ご注意

- 本書ではテレビをインターネットにつないで、Google アカウントを使ってログインしたときに使える機能や操作方法を説明しています。

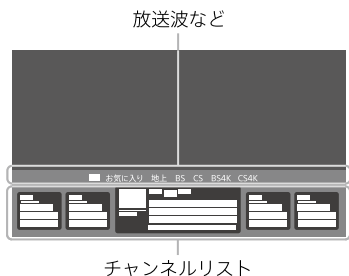
テレビを見る

テレビを見る



1 テレビボタンを押す。

2 テレビメニューとチャンネルリストが表示されるので、▲▼◀▶ (上下左右) ボタンで見たい番組を選び、決定ボタンを押す。



地上、BS/CS、BS/CS 4Kボタンを押すと、放送波が切り換わります。

USBハードディスクに録画する

テレビに録画用USBハードディスクをつなぐと、デジタル放送を録画できます。

テレビに対応しているUSBハードディスクについて詳しくは、ブラビア サポートページをご覧ください。

<https://www.sony.jp/support/tv/>

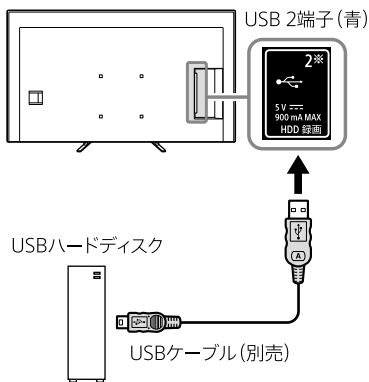
USBハードディスクをつなぐ

1 必要なもの (別売) を準備する。

- 32 GB以上16 TB以下の録画用USBハードディスク
- USBケーブル(1本)

USB3.0準拠のUSBハードディスクを推奨します。

2 USBケーブル(別売)を、テレビのUSB 2 HDD録画端子(青)とUSBハードディスク(別売)のUSB端子につなぐ。



ご注意

- USBハブを使ってつなぐと録画できません。テレビに直接つないでください。

3 USBハードディスクの電源を入れる。

4 [USBドライブが接続されました]
という画面に切り換わるまで待つ。
表示までしばらく時間がかかることがあ
ります。

5 [録画用機器として登録]を選び、
画面の指示に従って、USBハード
ディスクを登録する。
登録が完了するまでしばらくお待ちくだ
さい。

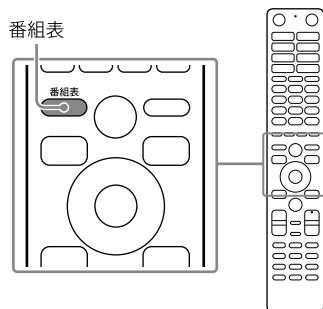
ご注意

- 登録を行うと、USBハードディスク内のすべ
てのデータが削除されます。
- USBハードディスクが認識されないとときや登
録できないときは、再度つなぎ直してみてく
ださい。

USBハードディスクを登録できないときは

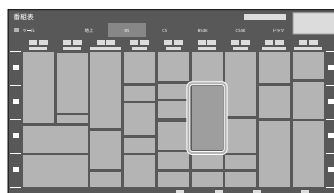
- USBハードディスクがUSB 2端子(青)に接続されて
いるか確認し、接続し直してください。

録画予約する



1 番組表ボタンを押す。

2 録画したい番組を選び、決定ボタ
ンを押す。



3 [録画予約]を選び、画面に従って
録画予約を確定する。

録画予約を確認するには、番組表ボタン
を押して番組表を表示し、画面上部から
[予約リスト]ー[録画予約リスト]を選び
ます。

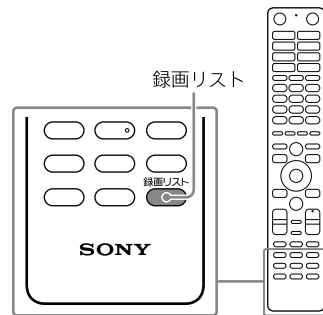
ヒント

- [録画機器]から録画先を変更することができ
ます。詳しくはオンライン版のヘルプガイド
をご覧ください。

ご注意

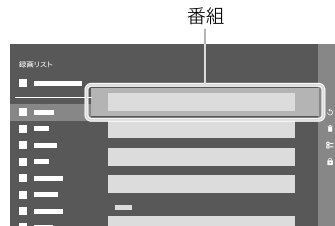
- データ放送は録画できません。
- USBハードディスクに録画できる番組の数は3,000件までです。
- 本機を使ってUSBハードディスクに録画した番組は、本機以外のテレビでは再生できません。
- テレビの不具合や受信障害など、何らかの原因で正しく録画できなかったなど、いかなる場合においても記録内容の保障および、それに付随するあらゆる損害において当社は一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

録画した番組を見る／削除する



1 録画リストボタンを押す。

2 見たい番組を選び、決定ボタンを押す。



選んだ番組が再生されます。

録画した番組を削除するには

録画リストで削除したい番組の右の🗑️(削除)を選びます。

番組が保護されていて削除できない場合は、🔒(保護解除)を選びます。

故障かな？と思ったら

下記の流れに従ってチェックしてください。

1 テレビをリセット(再起動)する。

リモコンの \odot (電源) ボタンを長押し(5秒以上)してテレビを再起動すると、問題が解決することがあります。

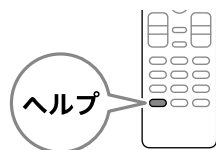
それでも解決しないときは、テレビの電源プラグを抜き、テレビ本体の \odot (電源) ボタンを1回押してください。その後、2分間待ってからテレビの電源を入れてください。

または、テレビ本体の \odot (電源) ボタンを電源が切れるまで押し続けてください(40秒以上)。



2 ソフトウェアの更新をする。(インターネットにつながっている場合)

リモコンのヘルプボタンを押して、[情報と診断]→[システムソフトウェアの更新]→[ソフトウェアの更新]→[本機のソフトウェアを更新]を選び、ソフトウェアを更新します。



3 本書やヘルプで調べる。

本書の「故障かな？と思ったら」をチェックします。

テレビがインターネットにつながっている場合は、ヘルプボタンを押して、サポート情報を調べます。

4 テレビの診断機能で調べる。

ヘルプボタンを押して、[情報と診断]の中から該当する項目を調べます。

5 サポートページで調べる。

ブラビアサポートページで最新のサポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答を調べます。

<https://www.sony.jp/support/tv/>

6 それでも解決しないときは。

使いかた窓口、修理相談窓口(13 ページ)へご相談ください。

問題と対処

リモコンでテレビを操作できない

- 電池切れの可能性があります。リモコンの電池を交換してください。
電池は+／-を正しい向きに合わせて、一極側から入れてください。
- リモコンの代わりにテレビ本体の \odot (電源) ボタンで操作してください。
電源を入れるときは押し、切るときは長押しします。
電源が入っている状態で軽く押すとメニューが表示され、音量調節やチャンネル切り換えができます。

ACAS番号について

ACAS番号とは、受信機ごとに割り振られた20桁の番号です。NHKの受信機設置メッセージの消去や有料放送を視聴する際に必要です。ACAS番号を確認するには、リモコンのヘルプボタンを押し、[情報と診断]－[放送受信情報一覧]を選んでください。[CAS情報]のモジュールIDに表示された番号がACAS番号になります。

ACAS番号をご確認のうえ、記入してください。

ケーブルテレビをご利用の場合

ケーブルテレビ放送会社にご相談ください。ケーブルテレビ放送会社の連絡先がわからないときは、下記までお問い合わせください。
(社)日本ケーブルテレビ連盟
電話：03-6228-6639
提供地域(エリア)については、下記ホームページでご確認ください。
<https://www.catv-jcta.jp/>

放送局お問い合わせ先

- NHK
受信機設置のご連絡とメッセージ消去
電話：0120-933-933
<https://nhk.jp/cas>
- WOWOW
電話：0120-580-807
<https://www.wowow.co.jp/>
- スターチャンネルカスタマーセンター
電話：0570-013-111または044-540-0809
<https://www.star-ch.jp/>
- スカパー！カスタマーセンター（総合窓口）
電話番号：0120-211-855
受付時間：10:00～20:00<年中無休>
<https://www.skyperfectv.co.jp/>
- (社)放送サービス高度化推進協会(A-PAB)
新4K8K衛星放送コールセンター
電話：0570-048-001
<https://www.apab.or.jp/>

保証書とアフターサービス

保証書について

- この製品は、保証書が添付されています(裏表紙)。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- 本機のメモリーに保存されたデータは、保証の対象外です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書とヘルプガイドをもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときはソニーご相談窓口へ

- 製品内部を開けずに、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。修理をご依頼の際は原因特定のため、ご使用中のケーブル類なども合わせてお持ちください。
- BS、110度CS並びにBS4K/110度CS4Kの放送局との受信契約や番組に関しては、ご覧になりたい放送局のカスタマーセンターや衛星サービス会社にお問い合わせください。
- デジタル放送全般については(社)放送サービス高度化推進協会(A-PAB)のホームページをご覧ください。
<https://www.apab.or.jp/>

保証期間中の修理は

- 保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは、保証書をご覧ください。
- 何らかの原因でコンテンツが外部メディアや外部記録機器(デジタルレコーディングハードディスクドライブなど)に記録できなかった場合や、外部メディア・外部記録機器に記録されたコンテンツが破損または消去された場合など、いかなる場合においてもコンテンツの補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、本製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後8年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。



愛情点検

長年ご使用のテレビの点検を！

こんな症状はありませんか

- 電源コードやプラグが異常な熱を持っていますか
- 異常な熱や煙が発生したり変な臭いや音(パチパチ)がしませんか
- 電源を入れても画像や音が出ないことがありますか
- 故障状態のまま使用していませんか



すぐに電源プラグを抜いて使用を中止し、故障や事故の防止のために、お買い上げ店、またはソニーご相談窓口にご相談ください。

ソニーの相談窓口のご案内

本製品についてご不明な点や技術的なご質問、故障と思われるときのご相談については、ホームページまたはソニーの相談窓口へ。

相談窓口へお問い合わせの際は、次のことをお知らせください。

- 型名
- ご相談内容：できるだけ詳しく
- お買い上げ年月日

ご質問の内容によっては、本機に接続される機器についてお問い合わせさせていただく場合があります。事前にわかる範囲でご確認いただき、お知らせください。

本機の型名、シリアルナンバーおよび定格は、本機背面に記載されています。

型名： K-98XR50 K-65XR50	K-85XR50 K-55XR50	K-75XR50
--------------------------	----------------------	----------

This television is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country/region.

お問い合わせの前に、「故障かな？と思ったら」(11 ページ)をご確認ください。

お問い合わせ窓口

● 各種お問い合わせ

様々なお問い合わせ方法を準備しております。
お気軽に LINE、チャット、メールでお問い合わせください。
詳しくは 以下のホームページをご覧ください。
<https://www.sony.jp/support/inquiry.html>

● 電話でのお問い合わせ

【使い方相談窓口】

フリーダイヤル：0120-333-020
携帯電話・一部のIP電話：050-3754-9577

【修理相談窓口】

フリーダイヤル：0120-222-330
携帯電話・一部のIP電話：050-3754-9599

FAX: (共通) 0120-333-389



ガイドンスに沿って
短縮番号「200」+「#」を押すと、
担当窓口へおつながります。

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

安全のために



下記の注意を守らないと**火災・感電・破裂**などにより**死亡**や**大けが**などの人身事故が生じます。

次のことを守って、本機を設置する

テレビが落下して、重大な人体傷害または死亡の要因になるおそれがあります。多くの傷害、特に子どもに対するものは、次のような簡単な予防措置をとることによって、避けることができます。

- 常に、ソニーが推奨したキャビネット、またはスタンド、または取付手段を使用する。
- テレビを安全に支持することができる家具だけを必ず使用する。
- 支持している家具の端から、テレビが突き出ないことを確実にする。
- テレビまたはその制御部に到達するために家具によじ登ることの危険性を子どもに必ず教育する。
- テレビに接続するコードやケーブルを引掛けてつまずいたり、引っ張ったり、つかんだりしないように必ず配置する。
- 決して、不安定な場所にテレビを置かない。
- 家具およびテレビの両方を適切な支持体にしっかりと固定することなく、背の高い家具(例えば、食器棚や書棚)の上に機器を決して置かない。
- テレビと支持している家具との間に、布または他の材料を置いてテレビを決して置かない。
- テレビの上やテレビの置かれている家具の上に、子どもがよじ登りたくなるようなもの(玩具やリモコンなど)を決して置かない。

既存のテレビを使い続けるまたは再配置する場合にも、上記と同じ事項を適用することを推奨します。

転倒防止の処置を必ず行う

転倒防止の処置をしないと、本機が倒れてけがの原因となることがあります。スタンドや床、壁などと本機の間、適切な転倒防止の処置を行ってください。(転倒防止の処置については「組み立て／設置ガイド」をご覧ください。)



禁止



人が通行するような場所に置かない

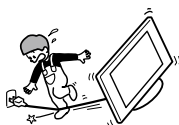
コード類は正しく配置する

電源コードや信号ケーブルは、足に引っかかることと製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。

人が踏んだり、引っかけたりするような恐れのある場所を避け、充分注意して接続・配置してください。



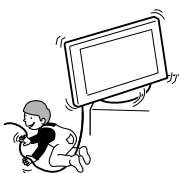
禁止



乳幼児がコードを引っ張る恐れのない場所に電源コードや信号ケーブルを配置してください。



禁止



不安定な場所に置かない

本機の底面よりも、広くて水平で丈夫な場所に置いてください。ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、本機が落ちたり倒れたりしてけがの原因となります。平らで十分に強度があり、落下しない所に置いてください。

テレビが落下し、大けがまたは死亡の原因となる可能性があります。



禁止



本機にぶらさがらない

本機が壁からはずれたり、倒れたりして、本機の下敷きになり、大けがの原因となることがあります。



禁止



テレビ以外の荷重を掛けない



禁止

落下によるけがや破損の原因となることがあります。

壁に取り付ける場合は、必ず専用の壁掛けユニットを使用し、専門の業者に取り付けてもらう。また、設置の時は設置関係者以外近づかない



禁止

- 専門業者以外の人を取り付けたり、壁への取り付けが不適切だと、本機が落下するなどして、打撲や骨折など大けがの原因となることがあります。
- 強度の弱い壁や、平面ではなかったり垂直ではない壁に取り付けた場合、壁掛けユニットの落下によるけがや破損の原因となります。壁は、少なくともテレビの質量の4倍に耐えられる強度が必要です。(テレビの質量は、25 ページをご覧ください。)
- 壁への取り付けがもろい場合、壁掛けユニットの落下によるけがや破損の原因となります。

次のことを守って、壁掛けユニットに本機を設置する

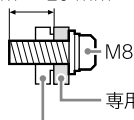
誤った取り付け方法で設置すると、本機が落下し、大けがをすることがあります。

- 壁掛けユニットの取扱説明書の取り付け方法を必ず守る。
- 壁掛けユニット(SU-WL850)を取り付ける場合は、テレビと同梱されているネジ M6L12 を使用してください。

また、壁掛けユニット(SU-WL450/WL460)を取り付ける場合は、壁掛けユニットと同梱されている専用固定ネジを使用してください。
テレビと同梱されているネジまたは専用固定ネジ以外のネジを使用すると、落下や本機内部の破損の原因になります。

K-98XR50

11 mm ~ 20 mm

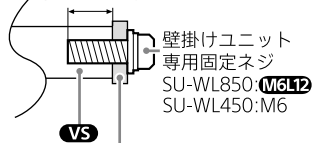


専用壁掛けユニット

テレビの背面カバー

K-98XR50以外

8 mm ~ 10 mm



専用壁掛けユニット

医療機器としての使用はできません



禁止

医療機器の誤動作の原因となることがあります。

医療機器に近づけない

本製品(付属品を含む)は磁石を使用しているため、ペースメーカー、水頭症治療用圧可変式シャントなどの医療機器に影響を与える恐れがあります。本製品をこれらの医療機器をご使用の方に近づけないでください。これらの医療機器を使用されている場合、本製品のご使用前に担当医師にご相談ください。

子どもや監督を必要とする方などの手の届くところに置かない

本製品(付属品を含む)は磁石を使用しています。磁石を飲み込むと、窒息の危険性や腸などを傷つけ深刻な症状を引き起こす恐れがあります。磁石を飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。

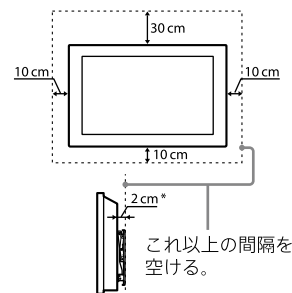


下記の注意を守らないと**火災・感電**などにより**死亡や大けが**の原因となります。

周囲に間隔を空ける

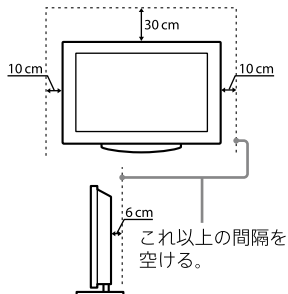
周囲に間隔を空けずに設置すると、通風孔がふさがり熱が内部にこもり、火災や故障の原因となります。本機を壁に近づけすぎると、壁などにほこりが付着し、黒くなることがあります。風通しをよくするために、壁から距離を離して置いてください。

壁に取り付けるとき



* SU-WL850を使用する場合は1 cm。

スタンドを使用するとき





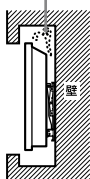
下図のような設置はおやめください。

禁止

空気が抜けなくなります。



空気が抜けなくなります。



底面の通風孔を布などでふさがないでください。

通風孔をふさがない



禁止

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- あお向けや横倒し、逆さまにしない。

- 棚や押入の中に置かない。
- ホットカーペットの上に置かない。
- 布をかけない。
- 壁や家具に密着して置かない。また毛足の長いじゅうたんや布団などの上に置かない。
- 本機の下に物を置かない。

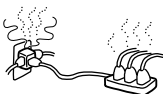
電源(コード、プラグ)

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100 V (50/60 Hz) 以外では使用しない

たこ足配線などで、定格を超えると、発熱により、火災の原因となります。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。



禁止



ゆるいコンセントに接続しない



禁止

電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントにはつながないでください。発熱して火災の原因となることがあります。電気工事店にコンセントの交換をご依頼ください。

電源プラグをつなぐのは、他機器との接続が終わってから

コンセントに差ししたまま他機器と接続したりすると、感電の原因になることがあります。他機器との接続が終わった後に、電源プラグを壁のコンセントに差ししてください。

電源コードを抜くときはまず壁側コンセントから抜く

壁側コンセントから抜かないと感電することがあります。抜くときは必ずコードでなくプラグを持って抜いてください。

電源プラグは定期的にお手入れを

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを取ってください。

お手入れの際、電源プラグを抜く



プラグをコンセントから抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

電源コードを傷つけない



禁止

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。万一電源コードが傷んだ場合は、お買い上げ店またはソニーご相談窓口へ交換をご依頼ください。

ぬれた手で電源プラグにさわらない



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因となることがあります。

電源コードを引っ張らない



禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードに傷が付き、火災や感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

雷が鳴りだしたら、アンテナケーブルや電源プラグに触れない



接触禁止

感電の原因となります。

使用

内部に水や異物を入れない
本機の上に熱器具、花瓶など液体が入ったものやローソクを置かない
液晶画面や本機の背面など機器全体に直接水や洗剤をかけない



禁止

内部に水や異物が入ると火災の原因となります。万一、水や異物が入った場合は、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店またはソニーご相談窓口にご依頼ください。

分解や改造をしない



分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、裏ぶたを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となります。

内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーご相談窓口にご依頼ください。

リモコン及び電池の取り扱いについて

- 直射日光が当たるところ、火や暖房器具のそばや湿度が高いところには置かないでください。
- 落としたり、踏みつけたり、中に液体をこぼしたりしないよう、ていねいに扱ってください。
- 火の中に入れないでください。

本機の表面が割れたときは、電源プラグをコンセントから抜くまで本機に触れない



接触禁止

電源プラグをコンセントから抜かず本機に触れると、感電の原因となることがあります。

目や口に液晶を入れない／ガラスの破片に触れない



接触禁止

液晶パネルが破損すると、破損した部分から液晶(液状)が漏れたり、ガラスの破片が飛び散ることがあります。この液晶やガラスの破片に素手で触れたり、口に入れたりしないでください。ガラスの破片に触れるとけがをすることがあります。また、漏れた液晶に素手で触れると中毒やかぶれの原因となります。においを嗅ぐこともやめてください。誤って、目や口に入ったときは、すぐに水で洗い流し、医師にご相談ください。

移動、設置

正しい方法で運搬／移動する



プラグをコンセントから抜く

- 誤った方法で運搬したり移動したりすると、本機が落下し、打撲や骨折をしたり、大けがをすることがあります。

本機を持ち運ぶ際には、取扱説明書を参照の上、正しい方法で行ってください。

- 本機を運ぶときは、本機に接続されている電源プラグやケーブルなどをすべてはずしてください。電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因となる場合があります。

使用・設置場所について

電源コンセントに容易に手が届く場所に置き、何か異常が起こったときは、すぐに電源プラグを抜くようにしてください。暗すぎる部屋は目を疲れさせるのでよくありません。適度の明るさの中でご覧ください。また、連続して長い時間、画面を見ていることも目を疲れさせます。

人がぶつかりやすい場所に置かない

水のある場所に置かない



風呂・シャワー室での使用禁止

水が入ったり、ぬれたり、風呂場で使うと、火災や感電の原因となります。雨天や降雪中の窓際での使用には特にご注意ください。銭湯や温泉の脱衣所などに設置すると、温泉に含まれる硫黄などにより本機が故障したりします。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、虫の入りやすい場所、直射日光が当たる場所、熱器具の近くに置かない



禁止

湿気、ほこりの多いところ、油煙や湿気が当たるようなところ(調理台や加湿器のそば)におかないでください。火災・感電・変形などの原因となる場合があります。

乗物の中や船舶の中などで使用しない



禁止

移動中の振動により、本機が転倒したり落下したりして、けがの原因となることがあります。

塩水をかぶると、発火や故障の原因となることがあります。

可動式の台に設置しない

移動中の振動により、本機が転倒したり落下したりして、けがの原因となる場合があります。

屋外や窓際で使用しない



禁止

雨水などにさらされ、火災や感電の原因となることがあります。また、直射日光を受けると、本機が熱を持ち、故障することがあります。

海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることがあります。

壁掛け設置

テレビがはみ出すような取り付けはしない



禁止

壁掛けユニットを、柱などのテレビがはみ出してしまうような場所には取り付けないでください。身体や物などがぶつかってけがや破損の原因となります。

テレビを取り付けたあとはネジなどをはずさない

テレビが落ちて、けがや破損の原因となります。

エアコンの上や下にはテレビを取り付けない

送風などで直接、風が当たり続けたり、水もれによってぬれたりすると、火災や感電、故障の原因となることがあります。

取り付け手順に従って、しっかり取り付ける

ネジがゆるんでいたり抜けていたりすると、壁掛けユニットが落下して、けがや破損の原因となります。壁の材質に合ったネジ(必要本数以上)で、しっかりと固定してください。

取扱説明書の説明に従って、付属のネジと取り付け金具を使う

付属品を使わずに代替品を使用して取り付けると、壁掛けユニットが落下して、けがや破損の原因になります。

組み立て手順に従って、正しく組み立てる

ネジがゆるんでいたり、抜けていたりすると、落下によるけがや破損の原因となることがあります。

ネジは指定された位置にしっかりと締め付ける

テレビが落下して、けがの原因となることがあります。

取り付け作業中にテレビに衝撃を与えない

テレビが落下したり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

垂直で平らな壁面にテレビを取り付ける

垂直ではなかったり、平らではない壁面に取り付けると、テレビが落下して、けがの原因となります。

取り付け作業が適切に完了したら、ケーブル類を固定する

ケーブル類を足に引っかけたりすると、けがをしたり、テレビを破損したりすることがあります。

電源コードおよび接続ケーブルをはさまないようにする



電源コードおよび接続ケーブルを壁面にはさんだり、無理に曲げたり、ねじったりすると、芯線が露出したり、ショート、断線して、火災や感電の原因となります。

壁の材質や構造に適したネジを使う

壁掛けユニットを壁面に固定するネジを付属していません。壁の材質や構造に適したネジをご準備ください。

本機を床に垂直に設置し固定する

本機を傾けた状態で設置すると、テレビが落下して、けがや破損の原因となります。



下記の注意を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

小さな部品を乳幼児の手の届くところに置かない



禁止

付属品の小さな部品を飲み込むおそれがあります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

旅行などで長期間、ご使用にならないときは、電源プラグを抜く



プラグをコンセントから抜く

本機を長時間使用しないときは、安全のため、必ず電源プラグを抜いてください。

本機は電源スイッチを切っただけでは、完全に電源からは切り離されておらず、常に微弱な電流が流れています。完全に電源から切り離すためには電源プラグをコンセントから抜く必要があります。コンセントは製品の設置場所に一番近く、抜き差しがしやすい場所を選んでください。

液晶画面の表面に物をぶつけない



禁止

ガラスが割れ、飛び散ったガラスにより、けがの原因となります。

音量について

周辺の人の迷惑とならないよう適度の音量でお楽しみください。特に、夜間での音量は小さい音でも通りやすいので、窓を閉めたりヘッドホンを使用したりして、隣近所への配慮を充分にし、生活環境を守りましょう。

ヘッドホンをご使用のときは、耳をあまり刺激しないよう、適度な音量でお楽しみください。耳を刺激するような大きな音で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。耳鳴りがするような場合は、音量を下げるか、使用を中止してください。

また、ヘッドホンをつけたまま眠ってしまうと危険です。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

アンテナの工事は電気店に依頼する

アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、必ず電気店にご依頼ください。

掃除やお手入れのときは、力をかけない

掃除やお手入れのときに、テレビの上面に手を置いたり、力をかけたりしないでください。テレビの落下によるけがや破損の原因となります。

リモコンによる遠隔操作について

無線リモコン、またはVideo & TV SideViewなどのアプリを搭載したスマートフォン/タブレットのリモコン機能による遠隔操作は、本機が見える位置からのみ行ってください。

同軸ケーブルの接続について

主電源接続、または他の機器を通じて建物の設備の保護接地に接続し、かつ、同軸ケーブルを使ってテレビ信号分配システムに接続する機器は、ある種の条件下では火災の原因となる可能性があります。従って、テレビ信号分配システムへの接続は、ある程度の周波数範囲以下で電気絶縁する機器(ガバナック絶縁器)についてはEN60728-11を参照)を備えなければなりません。

オプション機器について

本機は3メートル未満の信号ケーブルを使用した場合にEMC規格の制限に準拠していることがテストにより確認されています。

磁気の影響を受けやすい物に近づけない

本製品(カバー類などの付属品を含む)は磁石を使用しています。磁気の影響を受けやすい物(磁気ストライプ付きのキャッシュカードやクレジットカードなど)を本製品の近くに置かないでください。

乾電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

危険

- 電池を直射日光、火のそばなどの高温になる場所や、極端に低い気圧になる場所に置かないでください。爆発、液漏れ、ガス漏れする可能性があります。

警告

- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 充電しない。
- +と-の向きを正しく入れる。
- 電池を使いきったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。
- 指定された種類の電池以外使用しない。
誤った型式の電池を使用すると、爆発する可能性があります。

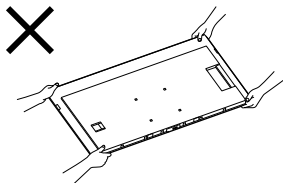
注意

- 指定された種類の電池を使用する。
 - 廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。
- もし電池の液が漏れたときは、リモコンの電池入れの液をよくふきとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

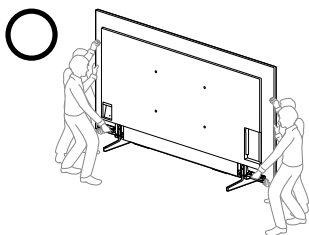
使用上のご注意／お手入れ

運搬／設置について

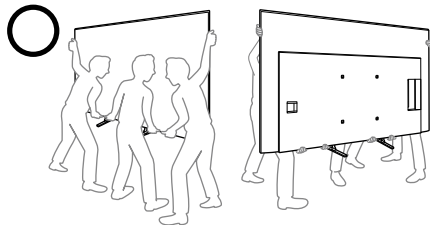
- 大型テレビは重いので、開梱や持ち運びは必ず2人以上（K-98XR50は4人以上、K-85XR50は3人以上）で行ってください。
テレビの底面を持つときは、イラストのようにしっかりと持ってください。



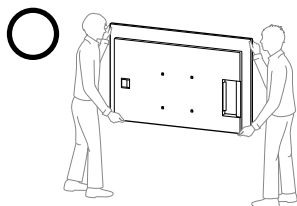
■ K-98XR50



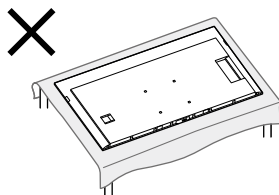
■ K-85XR50



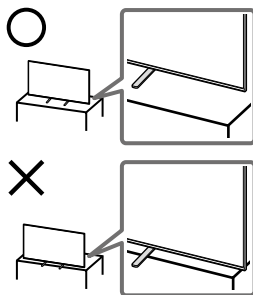
■ K-75XR50/K-65XR50/K-55XR50



- 運ぶときには、衝撃を与えないようにしてください。落下や破損などにより、大けがの原因となります。特に、液晶画面を押さえたり、強い力が加わるような持ちかたをしないでください。
- スタンドや壁掛けユニットの取り付け作業時に、テレビ画面を下に向けて置かないでください。



- 修理や引っ越しなどで本機を運ぶ場合は、お買い上げ時に本機が入っていた箱と、クッション材を使ってください。
- 本機を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときや、湿気の多い場所や暖房を入れたばかりの部屋などでは、機器表面や内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。結露が起きたときは、本機の電源を切り、結露がなくなるまで放置してからご使用ください。
- テレビ台からはみ出さないように設置してください。スタンド設置時には、お子さまが近づかないようにご注意ください。



- 壁掛けユニットにテレビを長期間取り付けてご使用されたときは、壁の材質によっては、テレビの放熱により、背面や上面にあたる壁面が変色したり、壁紙がはがれたりすることがあります。
- 壁掛けユニットをいったん取り付けると、外した場合に、壁にネジ穴の跡や壁掛けユニットの取り付け跡が残ります。
- 壁に取り付ける場合、機械的振動の多い場所には設置しないでください。

液晶画面について

- 画面を太陽に向けたままにしないでください。画面を傷める原因になります。
- 液晶画面を強く押ししたり、ひっかいたり、上に物を置いたりしないでください。画面にムラが出たり、液晶パネルの故障の原因になります。
- 寒い所でご使用になると、画像が尾を引いて見えたり、画面が暗く見えたりすることがありますが、故障ではありません。温度が上がると元に戻ります。
- 静止画を継続的に表示した場合、残像を生じることがありますが、時間の経過とともに元に戻ります。
- 使用中に画面やキャビネットがあたたかくなることがありますが、故障ではありません。
- 長時間使用したあとに液晶画面の外周を触ると、熱く感じることがあります。
- 画面上に赤や青、緑の点(輝点)が消えなかったり、黒い点(滅点)が表れたりしますが、故障ではありません。液晶画面は非常に精密な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素があります。

電源コードが同梱されている機種について

同梱されている電源コードはその機種専用のものです。他の機器では使用しないでください。

ネットワークへの接続について

- この機器は、電気通信回線設備に直接接続することができません。この機器をインターネットに接続する場合は、必ず電気通信事業法の認定を受けたルーター等を経由してください。
- 本機をネットワークにつなぐ際は、セキュリティ強化のため、ルーターもしくはルーター機能を有したLANポートへつないでください。セキュリティの問題が発生すると、テレビがインターネットを通じてマルウェア(悪意のあるソフトウェア)などによる被害を受け、お客様の情報やコンテンツが抜き取り・改ざんされてしまうことがあります。また、お使いの機器が意図せずに各種ネットワークサービスに損害を与える可能性があります。

無線の周波数について

本機の使用上の注意事項

本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

- 1 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、13 ページに記載のソニーご相談窓口にお問い合わせいただき、混信回避のための処理など(たとえばパーティションの設置など)についてご相談ください。
- 3 その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、13 ページに記載のソニーご相談窓口にお問い合わせください。

2.4DS/OF4

この表示のある無線機器は2.4 GHz帯を使用しています。変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用し、干渉距離は40 mです。

2.4FH1/XX4

この無線機器は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式およびその他の方式を採用し、干渉距離は40 mです。

電波法に基づく認証について

本機内蔵の無線装置は、電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。証明表示は無線設備上に表示されています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。

ただし、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。使用上の注意に反した機器の利用に起因して電波法に抵触する問題が発生した場合、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。

- 本機内蔵の無線装置を分解／改造すること。
- 本機内蔵の無線装置に貼られている証明ラベルを剥がすこと。

メモリーに保存されるデータについて

- 本機のメモリーには、各種機能の設定時にIPアドレス、ブックマークなどが、また、ご使用にあたって番組購入履歴などが記録されます。
- 本機のメモリーには、放送事業者の要求によりお客様が入力した個人情報や、データ放送のポイントなどが記録される場合があります。
- 本機を廃棄、譲渡などする場合には、本機のメモリーに記録されているデータを消去することを強くおすすめします。
データを消去するにはクイック設定ボタンを押して、**⚙️(設定)ー[システム]ー[デバイス情報]ー[リセット]ー[出荷状態に戻す]ー[すべて消去]**を選びます。ネットワークサービスをご利用の場合はログアウト処理も行ってください。
消去によりアカウントやパスワードなどが消えてしまうサービスもあります。
消去前に記録しておいてください。
- 本機の不具合・修理など、何らかの原因で、本機のメモリーに保存されたデータが破損・消滅した場合など、いかなる場合においても記録内容の補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。また、いかなる場合においても、当社にて記録内容の修復はいたしません。あらかじめご了承ください。

廃棄について

家電リサイクル法では、お客様がご使用済みの液晶テレビ、有機ELテレビを廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金(リサイクル料金)をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

お手入れ

誤ったお手入れをした場合、テレビを傷つけたり、故障の原因にもなりますので、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、次のことを必ずお守りください。

- 本機に直接水や洗剤をかけないでください。吹きかけた水や洗剤が画面下部や外装部にたれて本機が故障する場合があります。
- 画面は特殊加工がされているので、なるべく画面に触れないようにしてください。
- 画面の汚れについては、マイクロファイバークロスを使用してふいてください。
- 画面以外について、軽い汚れのときは、めがね拭きなどの乾いた柔らかい布でそっとふき取ってください。
汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤などに浸した布を固く絞ってふき取り、最後に乾いた布で軽くふいてください。
- テレビの下は柄つきのモップなどを使用してください。
狭いので手を入れて掃除しないでください。



- 市販の化学ぞうきんやクリーニングクロスなどは、販売元に確認してから使用してください。
- 印刷面は乾いた柔らかい布で丁寧にふいてください。爪などでひっかくと、印刷面が傷つくことがあります。

以下のことは行なわない

- 殺虫剤やシンナー、ベンジンのような揮発性のもの、クレンザーのような研磨剤は使わないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- ふき取るときの圧力で、液晶配列が崩れて、汚れのように見えることがあります。これは、電源を入れ直すと元に戻ります。
- 画面の汚れをふき取るときは、スピーカー部を持ったり、画面に圧力をかけたりしないでください。
- ゴムやビニール製品に長時間接触させないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- 市販の液晶パネル用保護フィルターなどは使わないでください。
- ハンドクリーム、日焼け止めクリームなどが手に付いた状態で本機に触らないでください。変色、変形の原因になります。



再設置／テレビを壁に取り付けて使う

再設置するには

再設置のしかたは、組み立て／設置ガイド(別紙)をご覧ください。

組み立て／設置ガイドはWebサイトからダウンロードすることもできます。

スタンドの外しかたは、同じページの壁掛けユニット取付方法をご覧ください。

テレビを壁に取り付けて使うには

テレビの機種によって、お使いいただける別売の壁掛けユニットの型名が異なります。「主な仕様」(24 ページ)をご覧ください。お持ちのテレビに対応している壁掛けユニットをお使いください。

壁に取り付ける場合は、必ず指定の壁掛けユニットを使用し、専門業者に取り付けを依頼してください。

また、取り付け時には設置関係者以外近づかないでください。

専門業者以外の方が取り付けたり、壁への取り付けが不適切だと、テレビが落下したりして、打撲や骨折など大けがの原因となることがあります。

壁掛けユニットを取り付けるには、テレビに取り付けたスタンドを外し、壁の取り付け位置の確認をしたり、テレビに必要な部品を取り付ける必要があります。

取り付けかたについて詳しくは、壁掛けユニットに付属の取扱説明書およびガイドと、Webサイトから「壁掛けユニット取付方法」(PDF)をダウンロードしてご確認ください。

主な仕様

システム

受信方式

地上放送方式、BS放送方式、110度CS放送方式、BS4K放送方式、110度CS4K放送方式

受信チャンネル

地上放送

VHF:1 ～ 12、UHF:13 ～ 62、CATV:C13 ～ C63
CATVはケーブルテレビ放送会社との受信契約が必要

BS/110度CS放送

1032 MHz ～ 2071 MHz

BS4K/110度CS4K放送

1032 MHz ～ 3224 MHz

パネルシステム

LCDパネル、LEDバックライト

使用スピーカー

フルレンジ(2)
トゥイーター (2)

音声出力(実用最大出力)

10 W+10 W+10 W+10 W

無線技術

プロトコル IEEE 802.11a/b/g/n/ac/ax
Bluetooth® Version 5.3

入出力端子

アンテナ端子

地上 75Ω F型コネクター
BS/110度CS IF 75Ω F型コネクター
(コンバーター用電源出力、DC15 V、最大4 W、芯線側+、メニューにてオート／入／切を切り換え)

HDMI 1 ～ 4入力端子

HDMI 3入力端子：eARC/ARC
HDMI 3、4入力端子：120 Hz対応

ヘッドホン端子

光デジタル音声出力端子

角型端子、2チャンネル リニアPCM (48 kHz 16ビット)、ドルビーオーディオ*1、DTS*1、MPEG2 AAC*1

*1 対応するオーディオシステムを本機につなぎ、[スピーカー出力]を[オーディオシステム]に設定してください。詳しくはオンライン版のヘルプガイドをご覧ください。

S-センタースピーカー入力端子

LAN (10/100)端子

10BASE-T/100BASE-TXコネクター

USB端子

- USB 1 (USB 2.0対応)
- USB 2 録画用HDD接続端子(USB 3.2 Gen 1対応)

電源部、その他

動作温度

0℃ ～ 40℃

動作湿度

20% ～ 80% (結露なきこと)

消費電力 (W)

		リモコン待機時*2
K-98XR50	605	0.5
K-85XR50	377	0.5
K-75XR50	323	0.5
K-65XR50	248	0.5
K-55XR50	190	0.5

*2 データ取得時、ネットワーク接続時を除く

	年間消費電力 (kWh/年)	区分名	受信機型サイズ
K-98XR50	218	c	98V
K-85XR50	186	c	85V
K-75XR50	179	c	75V
K-65XR50	154	c	65V
K-55XR50	123	c	55V

パネル解像度

3840×2160 (画素：水平×垂直)

有効画面サイズ*3 (幅・高さ・対角) (cm)

K-98XR50	215.9・121.4・247.7
K-85XR50	187.2・105.3・214.8
K-75XR50	165.0・92.8・189.3
K-65XR50	142.8・80.4・163.9
K-55XR50	121.0・68.0・138.8

視野角(左右／上下)

178/178度 (JEITA規格準拠コントラスト比10:1)

最大外形寸法(最大突起部分を除く) *³

(幅×高さ×奥行き) (cm)

	スタンドなし	スタンド 標準	スタンド サウンドバー スタイル
K-98XR50	219.9×125.5 ×8.5	219.9×132.5 ×48.8	-
K-85XR50	189.5×108.7 ×6.0	189.5×111.7 ×47.4	189.5×116.6 ×47.4
K-75XR50	167.1×96.0 ×6.0	167.1×99.0 ×40.5	167.1×103.9 ×40.5
K-65XR50	144.7×83.2 ×5.8	144.7×86.2 ×34.5	144.7×91.1× 34.5
K-55XR50	122.8×70.9 ×5.7	122.8×73.9 ×21.0	122.8×78.8 ×21.0

スタンド幅*³ (cm)

K-98XR50	153.6
K-85XR50	60.4
K-75XR50	51.7
K-65XR50	47.6
K-55XR50	40.8

質量*³ (kg)

	スタンドなし	スタンドあり
K-98XR50	69.0	71.4
K-85XR50	46.3	49.1
K-75XR50	36.2	38.6
K-65XR50	24.9	26.3
K-55XR50	17.7	18.8

電源

AC 100 V、50/60 Hz

定格出力

USB 1

DC5 V、500 mA MAX

USB 2

DC5 V、900 mA MAX

*³ 有効画面サイズおよび最大外形寸法とスタンド幅、質量は、およその値です。

別売アクセサリ

壁掛けユニット：

SU-WL850 (K-65XR50/K-55XR50のみ)

SU-WL460 (K-98XR50のみ)

SU-WL450 (K-98XR50以外)

カメラ・マイクユニット：

CMU-BC1

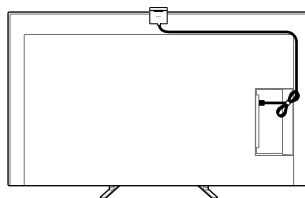
- 受信機型サイズ(98V、85V、75V、65V、55V)は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
- このテレビは日本国内用です。電源電圧、放送規格の異なる外国ではお使いになれません。
- 仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
- 主な仕様に関して詳しくは、ソニーのサポートサイトをご覧ください。
- 「JIS C 61000-3-2適合品」です。
JIS C 61000-3-2適合品とは、日本工業規格「電磁両立性-第3-2部：限度値-高調波電流発生限度値(1相当たりの入力電流が20 A以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

区分名と年間消費電力量について

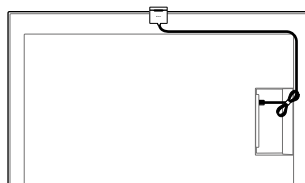
- 区分名
省エネ法において、画素数およびパネルの種類に基づき規定されている名称のことです。
- 年間消費電力量
省エネ法に基づいて、一般家庭での1日の平均視聴時間(5.1時間)を基準に算出した、1年間に使用する電力量です。

別売カメラ・マイクユニットのケーブルルネジメント

スタンドを使用するとき



壁に取り付けるとき



商標、ライセンス

- Dolby, Dolby Vision, Dolby Atmos, Dolby Audio, and the double-D symbol are trademarks of Dolby Laboratories Licensing Corporation. Manufactured under license from Dolby Laboratories. Confidential unpublished works. Copyright © 1992-2024 Dolby Laboratories. All rights reserved.
- HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface、HDMIのトレードドレスおよびHDMIのロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。
- Gracenote、Gracenoteのロゴとロゴタイプ、"Powered by Gracenote"ロゴは、米国および／またはその他の国におけるGracenote, Inc.の登録商標または商標です。
- Manufactured under license from IMAX Corporation. IMAX® is a registered trademark of IMAX Corporation in the United States and/or other countries. For DTS patents, see <https://xperi.com/dts-patents/>. Manufactured under license from DTS, Inc. and its affiliates. DTS, DTS:X, the DTS:X logo, Virtual:X, and the DTS Virtual:X logo are registered trademarks or trademarks of DTS, Inc. and its affiliates in the United States and/or other countries. © DTS, Inc. and its affiliates. ALL RIGHTS RESERVED.
- TUXERA is a registered trademark of Tuxera Inc. in the US and other countries.
- Google TV は、本デバイスのソフトウェア機能の名称であり、Google LLCの商標です。Google、YouTubeはGoogle LLC の商標です。
- Huluは、Hulu, LLCの登録商標です。
- FODは株式会社フジテレビジョンの商標登録です。
- U-NEXTは、株式会社U-NEXTの登録商標です。
- ABEMA及びABEMAロゴは株式会社AbemaTVの登録商標です。
- Netflixは、Netflix, Inc.の登録商標です。
- QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。
- その他の商標はすべて、個々の所有者に帰属します。

 **Dolby**
VISION·ATMOS

**HDMI**®
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

gracenote
a nielsen company

IMAX®
ENHANCED

dts **x**™

TUXERA™

保証書

出張修理

品名	液晶テレビ
型名	K-98XR50 / K-85XR50 / K-75XR50 / K-65XR50 / K-55XR50

Sample

保証書は製品に同梱されている取扱説明書に印刷されたものをご使用ください。

保証期間	お買上げの日から	1 年
お客様住所 お名前	電話	- - 様

無料修理規定

1. 正常な使用状態で保証期間内に製品（ハードウェア）が故障した場合には、本書に従い無料修理をさせていただきます。本書記載の修理対応の種別（出張修理、持込修理、引取修理）をご確認の上、以下の要領でご依頼および本書（再発行しませんので、大切に保管してください）の提示・提出をお願いいたします。なお、受付窓口の種類は、(1) お買上げのお店、(2) お近くのソニーサービスステーション、(3) 本書に記載の修理相談窓口の3種類です。

種別	受付窓口	保証書の提示・提出	注意事項
出張修理	(1)(2)(3)	出張修理担当者が訪問した際に提示	※1
持込修理	(1)(2)	持参した製品の修理依頼の際に提示	※2
引取修理	(3)	製品の引取時に指定業者へ提出	

※1 離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理となる場合、出張費用（実費）を申し受けます。

※2 (1) (2) へのご依頼が難しい場合は、(3) にご相談ください。

2. お客様のご要望により、出張修理の種別について引取修理を、持込修理の種別について出張修理・引取修理を、引取修理の種別について出張修理を行う場合は、別途所定の料金を申し受けます。
3. 保証期間内の故障でも次の場合には有料となります。
- (1) 本書のご提示がない場合 (2) 本書にお買上げ日およびソニー特約店の記載がない場合または本書の記載を書き換えた場合 (3) 保証期間中に発生した故障について、保証期間終了後に修理依頼された場合 (4) 使用上の誤り（取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った正常な使用をしなかった場合を含む）による故障・損傷 (5) 他の機器から受けた障害または不当な修理、改造による故障・損傷 (6) お買上げ後の移設、輸送、落下などによる故障・損傷 (7) 火災、地震、風水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧などによる故障・損傷 (8) 消耗・摩耗した部品の交換、汚損した部分の交換
4. 故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。
5. 修理に際して再生部品・代替部品を使用する場合があります。また、修理により交換した部品は弊社が任意に回収のうえ適切に処理・処分させていただきます。
6. 本書に基づく無料修理（製品交換を含む）後の製品については、最初のご購入時の保証期間が適用されます。
7. 故障によりお買上げの製品を使用できなかったことによる損害については補償いたしません。
8. 記録媒体を搭載または使用する製品の場合、もしくは製品自体が記録媒体の場合、故障の際または修理・交換により記録内容が消失等する場合がありますが、記録内容についての補償いたしません。
9. 本書は日本国内でのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)

修理メモ

* 本書はお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
* 保証期間後の修理については、取扱説明書等をご覧ください。

T07-2